

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	安全衛生施設整備等経費			担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始年度	昭和23年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	計画課		久知良 俊二		
会計区分	労働保険特別会計労災勘定								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号			関係する計画、 通知等	第12次労働災害防止計画				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	安全衛生施設については、労働災害の防止を目的として、労働安全衛生法に基づき、化学物質の有害性調査や安全衛生教育に従事する指導員の養成等を行うための施設として国が設置したものであるが、各施設において経年劣化が進行している状況にある。これらの施設をそのまま放置し、災害や事故が発生した場合、国の施設設置者としての責任を問われかねない重大な問題となることから、施設利用者の安全及び施設の円滑な運営を図るため、特別修繕を行う必要がある。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	安全衛生施設の特別修繕については、施設が毎年実施する保全実態調査及び国土交通省による実態調査等により、重要度・緊急度等を調査した上で、施設を適切に運営できるよう、特別修繕が必要なものを計画的に概算要求し、実施しているものである。平成28年度においては、化学物質についての動物の長期吸入有害性調査等を実施している日本バイオアッセイ研究センターの施設整備を実施するほか、安全衛生総合会館の施設整備などを行う。								
実施方法	直接実施								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	454	783	506	569	627		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	28	34	-	20	-		
		翌年度へ繰越し	▲ 34	-	▲ 20	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計	448	817	486	589	627			
	執行額	412	748	211					
執行率 (%)	92%	92%	43%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	91%	96%	42%						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	施設整備費	417	527	日本バイオアッセイ研究センターに係る施設整備経費の増					
	土地建物借料	72	76						
	施設施工庁費	72	16						
	各所修繕	6	6						
	施設施工旅費	1	1						
	その他	1	1						
計	569	627							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	日本バイオアッセイ研究センターの吸入実験装置等の整備及び建物付帯設備工事(1件)を実施し、同センターの主たる業務である動物による短期・長期吸入試験を円滑に行う。	整備及び建物付帯設備工事 事件数	成果実績	件	1	1	1	-	-
			目標値	件	1	1	1	-	1
			達成度	%	100	100	100	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	工事完了報告書								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	日本バイオアッセイ研究センターの吸入実験装置等の整備及び建物付帯設備工事に関し、予算の範囲内で、かつ、予定工期内に執行されるよう計画的に執行する。	活動実績		-	-	-	-	-	
	当初見込み		-	-	-	-	-		

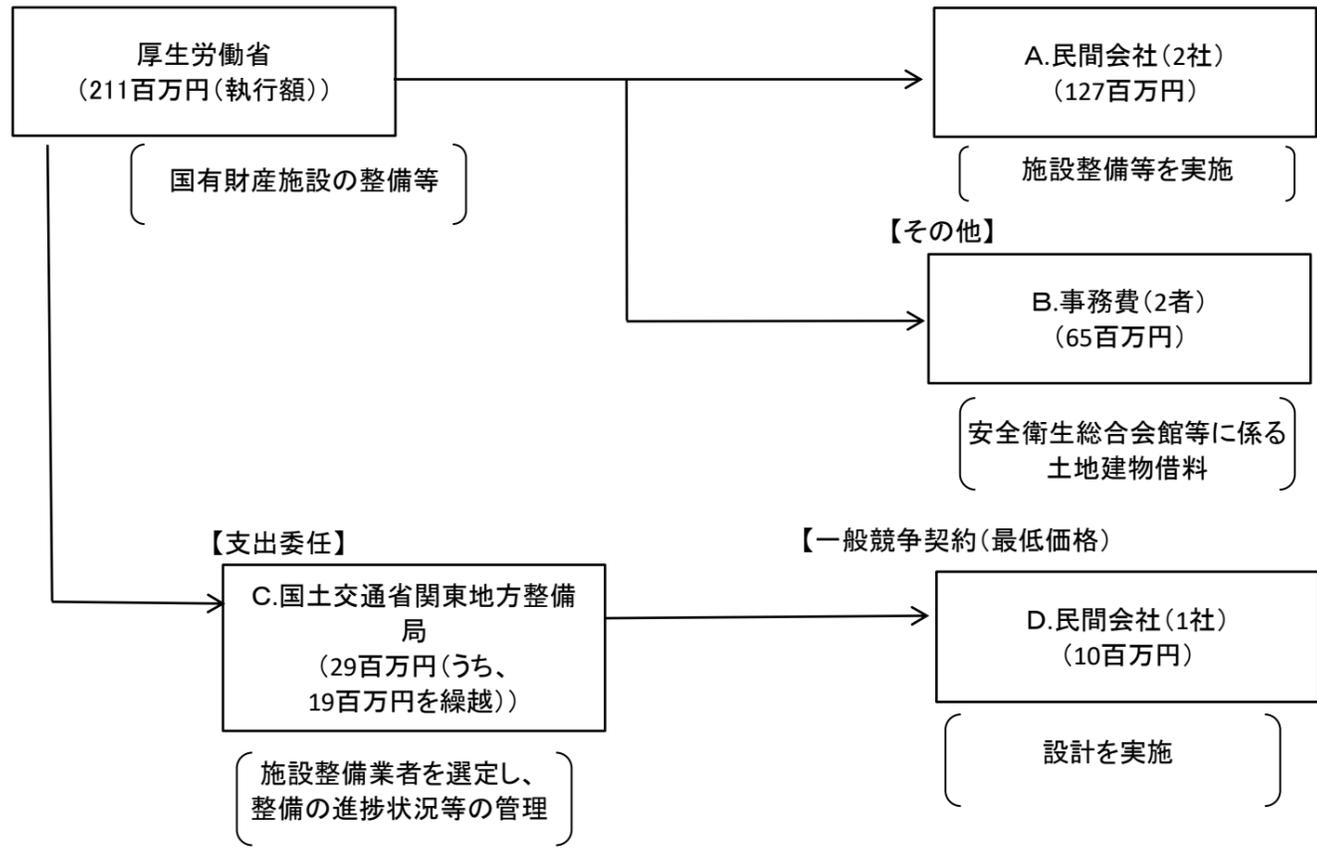
単位当たりコスト		算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
				単位当たりコスト	-	-	-	-	-	-
		計算式	-	-	-	-	-	-		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標2 労働者が安全で健康に働くことができる職場づくりを推進すること								
	施策	労働者が安全で健康に働くことができる職場づくりを推進すること(施策目標Ⅲ-2-1)								
	測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
		1 労働災害による死亡者数	実績値	人	1,057	972	928	-	-	
			目標値	人	-	-	-	-	929	
		定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
		2 労働災害による死傷者数(休業4日以上)	実績値	人	119,535	116,311	117,910	-	-	
			目標値	人	-	-	-	-	101,639	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	安全衛生施設(日本バイオアッセイ研究センター、大阪安全衛生教育センター、建設業安全衛生教育センター、安全衛生総合会館、産業安全会館、大阪労働衛生総合センターの計6施設)のうち、施設が毎年実施する保全実態調査及び国土交通省による実態調査等により、重要度・緊急度等を調査した上で、施設を適切に運営できるよう、特別修繕が必要なものを計画的に修繕する。施設の適切な運営を図り、各施設の調査研究等を促進することで、国内の労働災害及び職業性疾病の予防につながり、測定指標1及び2に寄与すると見込んでいる。									
アクション・プログラム	改革項目	分野:	-							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-		
	(第二階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-		
	事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	労働災害防止に係る調査・研究等を実施している国の施設の整備であり、事業目的は国民や社会のニーズを的確に反映している。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	施設の設置者である国が修繕を実施するべきものである。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	労働災害防止に係る調査・研究等を実施している施設の整備であり、優先度は高い。					
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	工事施工業者は、一般競争入札で選定しており妥当である。						
一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有	なお、一者応札になった調達については、専門的な技術を要するため、参加できる事業者が少ないなどの要因があるが、公示期間を延長するなどして複数入札となるよう改善を図る。						
競争性のない随意契約となったものはないか。			有							

事業の効率性	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	労働災害防止に係る調査・研究等を実施している施設の整備であり、事業主から徴収した労災保険料から経費を支出しており、受益者との負担関係は妥当である。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		△	不用の主な原因は、産業安全会館に係る取り壊し工事の不調によるものである。		
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果実績は見込みに見合っている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	一般競争入札又は国土交通省への支出委任により調達しており、低コストで実施している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	経年劣化した施設を整備することにより、労働災害防止に係る調査・研究等が円滑に実施されている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-		
	所管府省名	事業番号	事業名	-		
点検・改善結果	点検結果	本件事業については、予算の範囲内で工事が完了するとともに、日本バイオアッセイ研究センターにおける化学物質の短期・長期吸入試験を円滑に実施することができたことから、成果目標及び活動指標を達成しているものと思料する。				
	改善の方向性	今後の安全衛生施設の施設整備においても、重要度・緊急度等を調査した上で、厳選して優先度の高いものを計画的に概算要求し、実施する。また、支出委任先が実施する工事の施工業者の選定方法、進捗状況、執行状況について、適宜報告を求め、適切な予算の執行となるよう努める。				
<b>外部有識者の所見</b>						
点検対象外						
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>						
改善内容	事業内容 成果実績は目標を達成しており、活動実績も当初見込みを上回っているが、執行率を勘案して積算を見直す等事業内容を精査し、予算額の縮減について検討すること。					
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>						
現状通り	不用の主な原因は、産業安全会館に係る取り壊し工事の不調によるものであり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。					
<b>備考</b>						
-						
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	816	
平成25年度	363	平成26年度	372	平成27年度	380	
平成28年度	375					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

安全衛生施設整備等経費



**費目・用途**  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.柴田科学株式会社			B.事務費		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	国有財産の整備に係る工事費	68	土地建物借料	土地使用料	65
計		68	計		65
C.国土交通省関東地方整備局			D.株式会社あい設計		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
設計費	国有財産の改修に係る設計費	30	設計費	国有財産の改修に係る設計費	10
計		30	計		10

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	柴田科学株式会社	9030001040463	日本バイオアッセイ研究センター実験設備メンテナンス業務	68	一般競争契約 (最低価格)	1	99.4%	-
2	株式会社グロービック	2030001074625	日本バイオアッセイ研究センター吸入実験設備の安全性向上メンテナンス業務	59	一般競争契約 (最低価格)	2	91.3%	-

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	厚生労働省大臣官房	-	産業安全会館に係る土地使用料	37	その他	-	-	-
2	厚生労働省大臣官房	-	安全衛生総合会館に係る土地使用料	28	その他	-	-	-

